

にほんまつ

# 市議会だより

第54号

3月定例会

令和元年5月1日発行

発行：二本松市議会

編集：議会だより編集委員会



写真提供：とうわこども園

予算審査特別委員会 … P.2～3  
定例会概要 …… P.4～5  
代表質問・一般質問 …… P.8～14

# 次世代を見据えた新しい二本松市づくり

## 新年度予算案をチェック 予算審査特別委員会

予算審査特別委員会では、市の基本目標達成に向けた予算がどのように使われるのか、市当局への質問や活発な議員間討議が行われました。  
その内容について、一部をご紹介します。

**Q** 仮置き場から搬出される除去土壌の量はどのくらいか？また、仮置き場の数はどの程度減少しているか？

**A** 平成31年度の環境省からの輸送配分量は11万3,000立方メートルとなっています。なお、平成30年度の輸送配分量は5万立方メートルです。また、仮置き場の数について、平成30年度当初は233カ所ありましたが、これまで19カ所を地権者に返還しました。

**Q** 消費税引き上げに伴い発行されるプレミアム付商品券事業内容は？

**A** 市としては現時点で国の動向を確認した上での決定とはなりませんが、年金生活の方や非課税世帯の方などでも、買い求めやすいような販売方法を考えていきたいと思っています。また、周知方法については対象となると思われる方に、通知などが届くようにしたいと考えています。

**Q** インバウンド誘客促進事業とはどのような事業を考えているのか？

**A** 甲冑の購入を考えたり、外国人旅行者がそれを身にまとい、主に霞ヶ城公園内でいろいろな体験をツアーの商品の中に組み入れて、外国人旅行者が撮った写真などをSNSなどによって発信してもらうことで、海外に対しより一層の誘客とPR効果を図ろうとするものです。

一般会計の当初予算額の推移



予算審査特別委員会全体会の様子

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。



スカイピアあだたらに整備されるパークゴルフ場予定地



甲冑を試着して散策できる霞ヶ城公園

Q

商工団体等事業補助のうちジュニア・エコノミー・カレッジは、どのような事業内容か？

商工振興

**A** 小学校5、6年生が1チーム5名程度でチームを編成し、模擬株式会社を作り、計画・仕入・製造・販売・決算・納税までの一連のサイクルを体験し学ぶものです。

Q

生活用水確保対策事業の平成30年度の現時点での執行状況及び申請件数はどのくらいか？

生活用水

**A** 当初予算1,000万円に対し、9月補正及び流用のうえ、現在1,776万3千円の執行となっており、申請件数は36件です。

**意見** 平成30年度も予算を補正しており、需要が多いことから、過去の実績を考慮して当初予算での配慮をお願いしたい。

Q

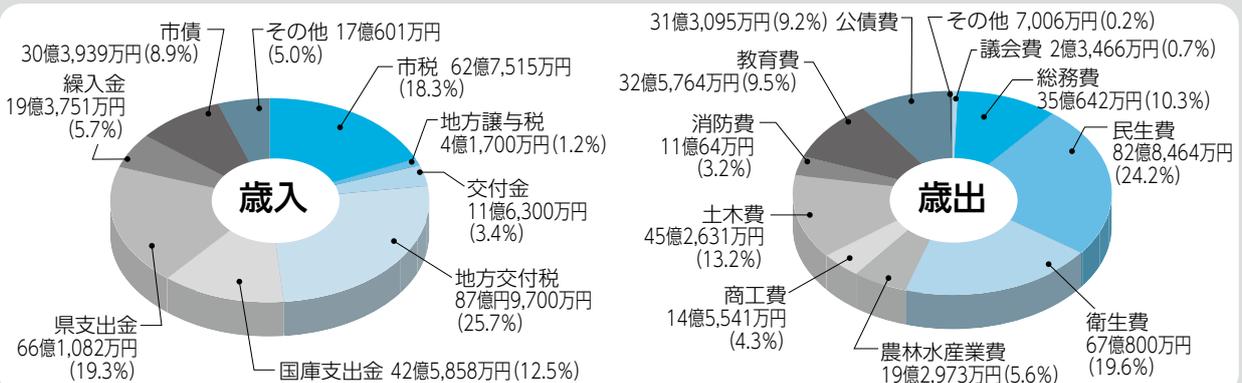
日山にもパークゴルフ場があるが、スカイピアの場所を候補地とした理由はなぜか？

健康増進

**A** 日山に18ホールのパークゴルフ場がありますが、移動距離が長く、市街地に近い場所での要望が上がったところであり、市街地に近く、整備費が圧縮できる市有地を候補地として調査した結果、スカイピアあだたらの敷地内が妥当と判断しました。今後、いろいろな団体に意見を聞いて、ホール数などの検討していきたい。

**意見** 場所も含めて、いまだ検討の余地があり、通年利用のできる場所を再検討するなど、利用者の意見等を十分調査し、進めるべきである。

平成31年度一般会計 当初予算 342億445万円



議案第24号 平成31年度二本松市一般会計予算 など市長提出議案40議案

## 新年度各会計予算案、消費税の税率引上げに伴う関係 条例制定等を可決

平成31年度の各会計予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日間にわたる審査が行われた後、本会議で可決されました。

平成31年度の一般会計当初予算総額は342億445万1千円で、除染対策事業費等の減額もあり、前年度対比で12億2,201万6千円、率にして3.4%の減となりました。

このほか、10月からの消費税及び地方消費税の税率引上げによる施設使用料等を改定するための条例制定や二本松市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正等についても審議され可決されました。

議案第16号 平成30年度二本松市一般会計補正予算

## 国の補助金などを活用した補正予算案を可決

国の「地方創生拠点整備交付金」を活用する事業や翌年度に予算を繰り越して執行するための措置などを盛り込んだ補正予算案を全会一致で可決しました。

主な内容は、高校生カフェ・そば打ち体験事業等地域間交流や観光振興のために、道の駅「さくらの郷」敷地内に新たに体験交流施設を整備するなど、補正予算の主なものは下記のとおりです。



高校生カフェ等を整備予定の道の駅「さくらの郷」

○道の駅「さくらの郷」体験イベント等観光拠点整備事業等	4,692万円
○プレミアム付商品券システム導入委託料等	376万円
○障がい者福祉費の増額	3,982万円

## 人権擁護員候補者の推薦

丹野 栄さん(表・再任) 安在 政晴(下川崎・再任) 大原 弘行(戸沢・新任)

## 茂原財産区管理委員の選任を同意

門馬 富夫さん(再任) 渡邊 久さん(新任) 菅野 康幸さん(新任)  
齋藤 栄一さん(新任) 渡邊 一雄さん(新任) 山口 一行さん(新任)  
渡邊 勇人さん(新任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第4号	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例制定について	原案可決
第5号	二本松市水道条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第6号	二本松市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第7号	二本松市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第8号	二本松市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第9号	二本松市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第10号	二本松市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第11号	二本松市スカイピアあだたら条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第12号	二本松市営住宅設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第13号	二本松市体育館条例及び二本松市安達野球場条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第14号	二本松市水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第15号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第16号	平成30年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第17号	平成30年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第18号	平成30年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決
第19号	平成30年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第20号	平成30年度二本松市東和簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
第21号	平成30年度二本松市安達下水道事業特別会計補正予算	原案可決
第22号	平成30年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第23号	平成30年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第24号	平成31年度二本松市一般会計予算	原案可決
第25号	平成31年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第26号	平成31年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第27号	平成31年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第28号	平成31年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第29号	平成31年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第30号	平成31年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算	原案可決
第31号	平成31年度二本松市岩代簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第32号	平成31年度二本松市東和簡易水道事業特別会計予算	原案可決
第33号	平成31年度二本松市安達下水道事業特別会計予算	原案可決
第34号	平成31年度二本松市岩代下水道事業特別会計予算	原案可決
第35号	平成31年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第36号	平成31年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第37号	平成31年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第38号	平成31年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第39号	平成31年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第40号	平成31年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第41号	平成31年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第42号	平成31年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決
第43号	損害賠償額の決定について	原案可決
第44号	二本松市茂原財産区管理委員選任の同意について	原案同意

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第1号	二本松市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第1号	教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書	不採択
第2号	「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める意見書採択についての請願書	不採択

賛否一覧

（これ以外の案件等は全会一致で可決されました。）

番号	件名	議決結果	市政刷新会議		真誠会				市政会		日本共産党 二本松市議団		会派に 属さない議員				賛成	反対									
			野地 久夫	佐藤 運喜	鈴木 一弘	齋藤 徹	平栗 征雄	佐藤 源市	平塚 興志一	佐久間 好夫	佐藤 有	坂本 和広	堀籠 新一	安野 政保	小野 利美	熊田 義春			斎藤 広二	菅野 明	平 敏子	石井 馨	加藤 建也	本多 俊昭	小林 均	本多 勝実	
議案第24号	平成31年度二本松市一般会計予算	原案可決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	7
請願第1号	教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3	18
請願第2号	「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める意見書採択についての請願書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	5	16

※○は賛成、●は反対。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

# 常任委員会の審査報告

## 総務市民常任委員会

### 一般会計補正予算等について

**問** 道の駅さくらの郷の体験交流施設整備について、今回補正予算で計上する理由及び事業メニューを高校生カフェ等に決定した理由は何か。また、事業は施設の指定管理者が主体となって実施していくのか。

**答** 平成30年度の国の二次補正に関連する事業であるため、平成30年度の予算措置としたものである。事業メニューについては、国県と協議をした結果であるが、高校生カフェ事業について実績等もあって評価が高く、そば打ち体験事業等と合わせることで地域間交流や観光振興が期待でき、補助金採択の可能性が高かったものである。また、事業は施設の指定管理者が主体となって実施するが、市としても地域おこし協力隊を配置しており、全面的にバックアップしながら地域全体で取り組んでいきたい。

**問** 上記事業に係る財源の地方債については、交付税措置があるのか。

**答** 地方債の償還については、交付税で措置される

ことになっている。

**問** 歳入における市税の補正の主な要因は何か。

**答** 個人市民税の減額については、納税義務者の減による均等割額の減額及び給与所得以外の所得に係る所得割額の減額である。また、固定資産税のうち償却資産に係る増額については、主なものは太陽光発電設備の設置に伴う増額である。



机上審査の様子

## 産業建設常任委員会

### 二本松市スカイピアあだたら条例の一部を改正する条例制定等について

**問** 二本松市スカイピアあだたら条例の一部を改正する条例制定において、温泉保養館として統一される休憩食堂施設は、統一後も従来どおり使用できるか。

**答** 従来どおり使用できる。また、食堂のみの使用も可能である。

**問** 岩代簡易水道事業において、配水管布設等工事が700万円減額となっているが、その内容は。

**答** 荒井地区の配水管布設工事において、配水管延長が80mから47mに短縮となったこと、また、不断水工事から断水工事へ変更したことにより、工事費が減額となったものである。

**討議** 荒井地区の配水管布設工事については、過去に委員会審査において高額である旨の指摘をしており、今回、当局の努力もあり委員会の審査結果

が反映された。今後も、議案内容についてしっかりと審査をしていきたい。当局においても、予算提出の際には、十分検討のうえ慎重に進めていただきたい。



机上審査の様子

2月28日に付託された各議案は、3月14日から18日にかけて各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日19日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

## 文教福祉常任委員会

### 一般会計補正予算等について

**問** 二本松市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について、災害弔慰金の支給限度額は。

**答** 二本松市災害弔慰金の支給等に関する条例に、それぞれの程度区分について貸付限度額が定められている。最大で、住宅が全壊した場合で350万円、最少で150万円となり、この範囲内で貸付される。

**問** 二本松市体育館条例及び二本松市安達野球場条例の一部を改正する条例制定について、新たに安達体育館と安達野球場において設定された使用料の根拠は。

**答** 安達体育館の多目的ホールの専用利用については、アリーナの半分の面積利用と同額とし、会議室については、城山総合体育館の会議室と同額とした。

また、安達野球場は、安達運動場の半分の金額

とした。これは、安達運動場で野球利用をする場合、四面のうち二面を使用することになるので、同じ金額となるよう設定したものである。



机上審査の様子

#### 議会豆知識

## 請 願 ・ 陳 情

◎ 「請願」「陳情」ってよく聞きますが、どういふものの？

▲ 市民の皆さんの要望を市政に反映させる方法の一つに「請願」や「陳情」があります。市民の皆さんに限らず、どなたでも市政への要望などを請願書や陳情書として議会に提出することができます。

◎ 「請願」と「陳情」の違いは？

▲ 議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と言い、「請願」は委員会で審査され、本会議で採択・不採択を決めます。

本市では、「陳情」は内容によって「請願」と同じ取り扱いにするかなどを議会運営委員会で決定し、「請願」扱いにならなかった「陳情」は陳情書の写しを全議員に配布することとなります。

◎ 「請願」が採択されたら、どうなるの？

▲ 採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書などを提出したりします。

◎ 提出の方法は？

- 提出場所 二本松市役所5階 議会事務局
- 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで

※3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。締切日を過ぎた場合は次回の定例会扱いとなります。

- 問合せ先 議会事務局（電話0243-55-5144）

（記載例）

<p>（表紙）</p> <p style="text-align: center;">請 願 書（陳情書） ○○○○○に関する請願書</p> <p style="text-align: center;">紹介議員署名 （または記名押印）</p>	<p>（内容）</p> <p>件名 請願の趣旨 理由</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 請願者住所 氏名 印 二本松市議会議長 様</p>
--	--

◎ 紹介議員の署名か記名押印が必要です。

# 代表質問・一般質問

## 市の明日を考える!

3月定例会では、4会派4人の議員が市政に対する代表質問を行いました。  
また、引き続き16人の議員により一般質問も行われました。  
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画中継をご覧くださいませ。

[発言順]



佐藤 源市

[市政刷新会議]

代表質問

地域医療体制の取組みは

高齢化社会における認知症対策は

問 岩代国保診療所の今後の運営方針は。

答 人口減少による患者数の減少が想定されるが、重要な医療拠点であり、当面存続していく。現医師に31年度継続の確約をいただいた。地元からの信頼も厚い現医師に可能な限り継続をお願いしていく。



岩代国保診療所の菅野医師

問 認知症の現状とサポート事業の取組みは。

答 介護保険認定者の8割は認知機能低下にある。予防普及啓発、高齢者見守り事業に取り組む。

問 中長期的対策及び登録制度、個人賠償責任保険事業への取組みについて伺う。

答 認知症高齢者の行方不明未然防止のためのQRコードの配布、登録は介護認定及びQRコード配布時に実施。個人賠償責任保険は高額な賠償が求められるケースがあり、保険内容、財源、公私の負担区分など総合的に検討する。

代表質問

本市の新規自衛隊募集の対応は

本市の農業政策は

問 本市の新規自衛隊募集の対応について伺う。

答 自衛官は、我が国の平和と安全を守り、自国の防衛と世界平和維持のため、重要かつ崇高な任務を担っており、災害救助活動に対して、感謝と賞賛が寄せられている。市では、自衛官募集相談員を9人委嘱し、名簿作成は法に基づき閲覧を許可し、閲覧事項の記録を認めている。

問 本市の専業農業者の人数及び平均年齢、生産品の売り上げは。

答 472戸、71.9歳である。農業算出額の合計は、



平塚與志一

[真誠会]

96億2千万円である。

問 農業者への指導対応、新たな生産作物及び10年後の本市の農業生産をどのように考えているか伺う。

答 県安達農業普及所が中心となり、JA等の関係農業団体と連携し、栽培技術等の指導に対応している。特にネギの栽培拡大を進めている。高齢化が進み農家戸数の減少が予想されることから、農家の法人化、協業化も視野に入れながら、販売先の確保や商品開発を進めていく。



## 齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

代表質問

### 消費税増税の市民への影響は

### 水道料金の統一及び老朽管改修計画は

- 問** 2%増税の負担は1世帯年8万円で市民の負担額は15億円。年金が減らされ(市内国民年金受給額126億円)、物価が上がり年間7.7億円の実質減となる。景気と市財政への影響は。
- 答** 市民や景気への影響は少なくない。一般会計で5億円の歳出増、上下水道料金の値上げで2,385万円の増。市有施設使用料で600万円増の見込み。(平成29年決算比)
- 問** 合併から14年。水道料金統一の見通しと、40年経過した老朽水道管の改修計画は。

- 答** 平成32年度からの料金改定にあたり、安定した事業継続に必要な水道料金を確保し、段階的な統一を目指す方向性を模索し検討する。市の水道管の延長は45.6km(東和簡水除く)あり、老朽管延長は12.3%。概算事業費は30数億円となる見込み。昭和4年設置の二本松地区の水道管の更新は平成39年度まで完了予定であり、本格的な老朽管更新は第6次拡張事業が終わる平成36年以降になる財政計画を立てている。

代表質問

### (仮称) 二本松市農業未来戦略会議の内容は

### エクストリームスポーツ福島創造事業とは



## 安齋 政保

[市政会]

- 問** メンバー構成と、人数は何人ぐらいか。
- 答** 農業従事者等による自由闊達な意見交換の場を設け、現場の生の声を農業施策に反映させるために設置。メンバーは、水稻、野菜、果樹、畜産、花卉等の各分野より、意欲的に取り組んでいる農業者や積極的に6次化に取り組んでいる農業者の代表、道の駅等直売所の代表、指導機関である県安達農業普及所、JA等の農業団体、加えて、昨年地域連携協定を締結した東京農工大学並びに今年4月に開設される福島大学

- 食農学類を予定。人数は20名程度を予定。
- 問** 広域的連携とは、具体的にどのような事業か。
- 答** ドリフトの聖地と言われている本市のエビスサーキットとスカイピアあだたらアクティブパークを計画の中心に位置づけ、浜通りのサーフィン、福島市のスカイパーク、猪苗代湖のジェットスキーなど、あだたら高原エリアから概ね60分から90分で移動できる範囲にある県内のエクストリームスポーツを結び付け、国内外の観光客の誘致を目指す。



## 坂本 和広

[真誠会]

一般質問

### 本市の空き家対策について伺う

### 観光推進の具体的施策は

- 問** 二本松市空家等の有効活用等に関する相談業務協定の内容について伺う。
- 答** 空家の適正管理、有効活用及び解消を目的とするもので、空家所有者の同意を得て、協定締結団体に情報提供し、専門的見地に基づいた売買や賃貸等のアドバイスを行うものである。
- 問** 市の解体費用補助や解体後の土地に対する優遇策等について伺う。
- 答** 現在、空家解体に対する補助はないが、空家等対策協議会において協議し研究していきたい

- と考えており、解体後の土地の税制優遇策等についても関係各課と研究していく。
- 問** 市内観光資源の外部マーケット評価は。
- 答** 今年度内に「にほんまつDMO」において首都圏等に居住する方を対象に、観光資源も含めたマーケティング調査を実施し、戦略のための基礎資料とする予定である。
- 問** 観光収入増加策について伺う。
- 答** 「にほんまつDMO」とともに観光施策の事業計画策定の中で収入増加策も盛り込んでいく。

一般質問

## 小中学校のICT化への対応

### 住宅用火災警報器の普及促進



斎藤 徹

[市政刷新会議]

**問** 2020年度からプログラミング教育が必修化されるが、タブレット導入やデジタル教科書への対応を伺う。

**答** タブレット型のパソコンは、小学校に200台、中学校に70台設置をした。2020年度には、全ての小中学校に設置を完了する。コンピュータやネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用し学習活動の充実を図って行く。

**問** 住宅用火災警報器が未設置の住宅で死者の

火災が県内で相次いで発生しているが、本市の普及率と導入の推進方法を伺う。

**答** 60件を抽出調査した結果、火災予防条例に沿った取付けをしている住宅が80%、義務付けのない場所への設置が8.3%、未設置が11.7%となっている。導入推進対策としては、広域行政組合消防本部が実施している65歳以上の一人暮らし家庭への訪問、広報にほんまつによる広報や各団体等の協力をいただいてチラシを配布することなどにより周知を図っていく。



佐久間好夫

[真誠会]

一般質問

## インフルエンザの感染状況と予防対策は

### 東和地域の用水路整備は

**問** インフルエンザの感染状況と予防対策について伺う。

**答** 12月に入り急速に罹患者が増えた。1月には保育所で2施設、認定こども園3施設、幼稚園1園、小学校8校、中学校2校で集団感染が発生。高齢者介護施設は幸い無かった。学校等では学年閉鎖もあり、対策として予防接種費用の助成、小中学校等へのマスク配布を行った。

**問** 再生可能エネルギーの進捗状況は。

**答** 市民主体の電力会社設立を目指し、事業計画、

資金調達方法等協議を進めている。3月中に経済産業省へ申請した設備認定が下りる予定。一般家庭の固定買取期間が満了した個人からの買い取りは検討する。蓄電池の助成については、今後の研究課題とする。

**問** 東和地域の用水路整備について伺う。

**答** 戸沢4区地内及び針道笹ノ田地内の用排水路は、地域代表より要望されており、両地域と協議が必要で、改修の必要性等、また、国・県事業整備も年次計画の中で進めるなど協議する。

一般質問

## 安達(油井)地区の環境整備は

### 教育環境改善は



佐藤 運喜

[市政刷新会議]

**問** 安達グラウンド周辺の新興住宅地内の街路灯設置計画はあるか。市道上原～油王田線(ふれあいロード)の整備延伸の計画は。

**答** 現在、地域からの要望が出されていないため街路灯の設置計画はない。その周辺整備も交通量、緊急度も含め調査を行い、財政状況も十分考慮しながら検討していく。

**問** 教室内の加湿器等の設置状況と学校関係者等の働き方の改善について伺う。

**答** インフルエンザ等の対策にもなる加湿器の設置

状況は小学校212台、中学校75台であり1校あたり平均は小学校が約13台、中学校が約11台である。今後も必要備品については十分対応していく。学校関係者等の働き方の改善、教育、周知については、教職員安全衛生委員会を年2回開催し、協議内容を各学校開催の労働安全衛生委員会で周知している。長時間超過勤務者の健康相談面談、全教職員のストレスチェック等の改善協議等を行い、教職員自身の健康管理に対する自覚を高めるよう指導している。



**石井 馨**

[無所属]

## 高齢者独居世帯への財政支援策は

### 無料Wi-Fi整備による観光客誘致の状況は

- 問** 今後増加が見込まれる高齢者独居世帯の支援策として、市主導による低家賃の「特別住宅」を大字単位で整備すべきだが市の考えは。
- 答** 「配食サービス事業」や歩行支援用具や補聴器の支給などの「日常生活用具給付等事業」、また見守り、安否確認緊急通報装置の設置等で支援していく。市営住宅の利用を進めていく。
- 問** 観光客誘致のために無料Wi-Fiの整備が必要だが整備状況と今後の予定は。
- 答** 無料Wi-Fiは市施設（本庁、支所他）で整備さ

れているが、観光地の未設置箇所については今後検討していく。

- 問** 観光客誘致の切り札として、農家民宿が有望だが、設置支援についての考えは。
- 答** 農家民宿開設支援として上限50万円の回収経費補助、申請にかかる経費（4万円）を助成している。掲載したパンフレット配布やモニターツアーに農家民宿を組込む等の支援を強化していく。

## サムライ体験でインバウンド誘客を促進

### スカイピアあだたら内にパークゴルフ場決定



**小林 均**

[公明党]

- 問** 体験型観光商品とツアー商品の具体的内容は。
- 答** よろいかぶとをまとって霞ヶ城公園内を散策するサムライ体験を企画。また、四季の景観を満喫できる場所の宣伝強化や日本酒、菓子を楽しめるツアーの開発を目標としている。
- 問** キャッシュレス決済実証事業の内容を伺う。
- 答** インバウンド利用増加策として、岳温泉の飲食店等に決済機を試験的に導入、調査する。
- 問** エクストリームスポーツ福島創造事業の主体は。
- 答** 本市にあるドリフトの聖地エビスサーキットが、

まさにこの事業の中心的存在であり、DMOとも連携、協力をいただく予定である。

- 問** パークゴルフ場整備事業の今後の計画は。
- 答** スカイピアあだたら地内に日本パークゴルフ協会公認コースを基準としたゴルフ場整備を検討しており、平成31年度は基本設計業務に1千万円の予算を計上したところである。
- 問** スカイピア地内にできることによる影響は。
- 答** 新たな魅力が加わることで利用者の増加が見込まれ、本市への経済波及効果も期待できる。



**平栗 征雄**

[市政刷新会議]

## 竹田坂住宅地の環境整備は

### 今後の公共交通網の整備は

- 問** 竹田坂東側は、ガケ地と称して県の土砂対策が無く、西側は、ガケ崩れ発生の際の防護擁壁が施工されている。住民にとって、町内の生活環境が違ふのは、不公平ではないかとの意見がある。行政の対策を伺う。
- 答** 県や国の急傾斜地等の対策条項の変更については、今後、福島県に対して、竹田坂東側において「急傾斜地崩壊危険区域」の指定の可能性について、現地調査を行うよう要望していきたいと考えている。

- 問** 「二本松中心地区」と「竹田・根崎・郭内・安達地区」を市のモデル地区として、巡回バスやコミュニティバスを運行する様、再度、協議会で話を進めていられるのか。
- 答** 公共交通については、市民の生活や通勤・通学的手段として非常に重要であり、特に交通弱者や高齢者にとっては必要不可欠であると認識しており、今後も、市民が暮らしやすい地域づくりを目指し、公共交通維持に努めていくのでご理解いただきたい。

一般質問

## 人口増へ向けたまちなか宅地開発の進め方は



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

### 耕作放棄地解消への取組みは

**問** 人口増への取組みでのまちなか宅地開発の進め方と地域的な計画はどのようなものか伺う。

**答** 空き家・空き地流通・活用の仕組み作りを含め、二本松駅南、安達駅周辺、杉田駅周辺及び二本松城跡整備事業等の都市基盤の整備により、まちなか居住の推進及び定住促進を図り、賑わいのある都市空間の創出と良好な居住空間の整備に努めていくと共に、人口や産業、都市機能が地域ごとに集約され相互に連携する「集約・連携型都市構造」への転換を図り、少子化対策

と人口増への取組みとして推進を図っている。  
**問** 耕作放棄地再生事業の助成はどの程度利用されどのような成果があったのか伺う。

**答** 再生事業の助成により、3か年で5.2haが解消され、従来からの伐採、伐根作業補助に加え、再生作業に伴う重機の借上げ、土壌改良材の費用に対する助成、振興重点作物（キュウリ）等の種苗の経費に対する上乗せ助成などを行い、担い手への農地集積の推進等と併せて耕作放棄地対策に取り組んでいる。



野地 久夫

[市政刷新会議]

一般質問

## 二本松城跡前整備事業拠点づくりは

### 温泉地観光施設整備事業推進内容は

**問** 二本松城跡前整備事業の基本構想施策を伺う。

**答** 二本松市の「文化拠点」「観光拠点」「史跡景観」づくりで市内に賑わいを創出するもので、城跡前に観光拠点施設を整備するものである。

**問** 地場産品紹介・販売スペースの考えを伺う。

**答** 地場産品販売の常設スペースは設けない。1階ロビーでジオラマにより地場産品を紹介する。  
(市長答弁) 物産については、継続して自立して経営できるか検討しているところである。

**問** 温泉地観光施設整備事業検討委員会の協議結果について、整備事業の当局の捉え方を伺う。

**答** 検討委員会と幹事会で計5回の開催、有意義な検討がなされたものと捉える。

**問** 次代を担う若い後継者が後世を見据え整備計画をまとめたことを市長はどう捉えるか伺う。

**答** (市長答弁) ビジターセンター方式の収益性が確保できない、大型バスが駐車できないとの温泉街の強い意見で、不足している駐車場を確保するよう変更方針となった。

一般質問

## 認知症高齢者QRコードはどのようなものか



本多 俊昭

[無所属]

### 市有車等へのドライブレコーダー設置状況は

**問** 太陽光発電施設の建設にあたり、地元住民とのトラブルが生じていると聞かすが、本市ではどのような事例があったか伺う。

**答** 機材搬入路として使用した私道の、パネル設置後の整備の不履行、敷地内排水の流末処理の機能不全、強風により太陽光パネルが飛ばされる等の事案がある。いずれも業者に対し指導を行い改善されている。

**問** QRコードはどのようなものを使う予定か。また、1人当たりにかかる費用はどの程度か。

**答** 大小3種類のシールとなっており、36枚セットを毎年度配布する。衣類、防寒着、杖など貼る場所に合わせて使い分けいただくことを想定している。費用は、1人当たり年額3,000円程度で市が負担する。

**問** ドライブレコーダーの設置率について伺う。  
**答** 市有車が194台中76台で39.2%、消防車両が102台中17台で16.7%となっている。全体では、296台中93台で31.4%である。



## 小野 利美

[市政会]

- 問** 今後の計画の考えについて伺う。
- 答** 平成30年度実施した未普及地域事業調査の結果を踏まえて、今後の事業の在り方を検討する。
- 問** 井戸ボーリングの補助金額はいくらか。
- 答** 事業費の40%以内の額で50万円を上限として実施している。
- 問** 防火水槽の補助金額はいくらか。
- 答** 新設は平成29年度から150万円で、修繕については工事費の2/3以内の額で上限が37万5千

一般質問

## 上水道未普及地における計画は

## 消防施設の整備状況は

- 円である。
- 問** 消火栓の各地域別の現在の申込数と今後の年次計画について伺う。
- 答** 現在の要望数は二本松地域5基、安達地域10基、東和地域4基。新年度は二本松地域と安達地域で3基、東和地域に2基設置予定である。



設置された消火栓

一般質問

## マイナンバーの申請率向上の対策は

## 公共交通運賃無料化事業の要望は

- 問** 本市は、マイナンバー制度を前向きに推進すべきと思うか、それともあまり積極的に進める制度ではないと思っているか伺う。
- 答** 国で定められた制度であるので、当然、法律等も制定されており、本市としては粛々と執行していく。
- 問** 公共交通無料化にして欲しいとは、どこから要望要請があったのか。3支所に要望があったのか。
- 答** (福祉部長) 老人クラブからの要望、市民の



## 加藤 建也

[無所属]

皆様からの声として質問をいただき検討した。(安達支所長) 市民の皆様から特段要望はなかった。(岩代支所長) 岩代支所としても直接的な要望はなかった。(東和支所長) 東和支所管内においても、安達、岩代同様、特段の要望はなかった。



## 堀籠 新一

[真誠会]

- 問** 「連携中枢都市圏」設立の目的とメリットは。
- 答** 人口減少・少子高齢化に伴う諸課題に対し、自治体が広域的連携を強化し持続的な発展と活力ある圏域の実現を目的とし、メリットは連携により観光振興や交流人口の拡大、移住定住の促進を目指し、広域的な医療体制や災害時の相互関係など幅広く期待できる。
- 問** 賢い働き方で「スマートワーク宣言」や弾力的労働時間制度の「フレックスタイム制」の導入、定年延長など職員の働き方改革の取組

一般質問

## 「連携中枢都市圏」構想の内容は

## 市職員の働き方改革の取組みは

- みは。
- 答** 現在の特定事業主行動計画で対応し、宣言や新制度導入については、他自治体の状況を確認しながら、研究・検討課題とする。
- 問** 首長を対象とした「ふくしま防災塾“トップ59”」の内容と今後の大規模災害に際しての対応は。
- 答** 災害を想定した演習と模擬記者会見など実施し、大規模災害の対応は総合ハザードマップを5月号の広報配布に合わせ全戸配布する。

一般質問

## 障がい者相談支援事業所への市の支援は

### 教職員の多忙化のそもそもの要因は



## 平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

**問** 市の障がい者福祉計画は、専門性の高い相談支援の充実、連携、安心して生活できる地域構築、地域生活への移行、就労の支援を推進となっているが、具体的な支援内容は。

**答** 障がい者施策の多くは安達管内で共同で実施、相談支援事業の利用も共有することが多く、市内の事業所も二本松市民だけの利用ではない。財政的負担を伴うものであり、管内の実情も踏まえ、支援のあり方を十分検討したい。

**問** 教職員の多忙化のそもそもの要因は。

**答** 学校をめぐる環境の複雑・多様化、新学習指導要領の完全実施に向けた準備、日々の教育充実が求められるなか、役割拡大が要因のひとつ。

**問** 算数科学力向上対策の内容と来年度方針は。  
**答** 学力向上非常勤講師は算数科を中心とするが、他教科の指導やティーム・ティーチングによる指導、主担当として単独指導等、校長の裁量で弾力的運用を容認。来年度は、小学校は配置校の指定する学年や教科、中学校は1年生の数学科を中心に指導を充実する。



## 熊田 義春

[市政会]

一般質問

## 主要農作物種子法廃止に対し本市の対応は

### 児童虐待に対する取組みは

**問** 国県からの情報と市の取組みについて伺う。  
**答** 通称「種子法」については、昭和27年食糧難時代に制定された法律で、米、大豆、麦など、野菜を除く種子の開発、管理、普及を国や都道府県に義務付けていたが、昨年4月1日廃止され、県が「奨励品種の決定」、「原種の生産と配布」、「検査による種子の品質確保」を定め、従来どおり、優良種子の安定生産に取り組んで行くとともに、農業者の皆さんに対して再度周知していく考えである。

**問** 市長の考え方と今後の取組みについて伺う。  
**答** 福祉部の子育て支援課を中心とし、教育委員会や健康増進課等の庁内関係各課と県の児童相談所、二本松警察署等の関係機関を構成員とする二本松市要保護児童対策地域協議会を設置しており、要保護児童や要支援児童、特定妊婦の情報を共有し、連携した支援を行っている。子どもの安全を最優先に考え、児童虐待の未然防止と早期発見、早期対応に取り組んでいきたいと考えている。

一般質問

## 水不足への市の対応策は

### 本市の自衛官募集業務への協力の実態は



## 菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

**問** 井戸水が涸れたり、このままでは春の農業用水の不足など深刻である。市の対応策は。

**答** 市は給水車の派遣、市施設からの水道水の供給を行っている。井戸ボーリング補助も実施しており、水の便が悪いエリアの方には、個人で、または数軒共同で補助を活用して、深井戸のボーリングを検討いただきたい。農業用水の不足は、状況把握に努め支援策の相談に応じたり、農家や関係機関と連携し対策に取り組む。

**問** 今国会で自衛官募集を巡り問題となっている

が、本市の自衛官募集の実態は。

**答** 募集に伴う対象者名簿の作成は、本市は行っておらず、住民基本台帳法第11条に基づき閲覧を許可し、閲覧事項の記録を求めている。

**問** 政府が各自治体に募集の協力要請の根拠としている自衛隊法第97条や同施行令第120条では、自治体に対し要請することが出来るとされ、自治体に応じる義務は規定されていない。自治体の判断で対応ということが良いか。

**答** 見込みとおりと考えている。

## 議案第24号 平成31年度二本松市一般会計予算

**賛成**

佐藤 有 議員

新総合計画4年目を迎え4つの基本目標実現を目指し、厳しい財政事情の中にあいながらも各種事業に積極的に取り組み、将来を見据えた新しい二本松市づくりに果敢に挑戦する三保市政の政治姿勢が如実に表れた予算である。喫緊の課題である少子化対策保育料減免をはじめ、市民が待ち望んでいる産科医師確保でも困難であろうとも決して諦めない決意であり、議会としても最大限協力すべきと考える。本予算は限られた財源を効率的に配分され賛成する。

**賛成**

斎藤 広二 議員

2%消費税増税前提の予算で、一般会計で5億円の歳出増。上下水道料値上げで2,385万円。市施設使用料600万円増となる。増税分を歳入に転嫁しなければ市の財政が欠損になる。これは全て国の責任であり、本予算には賛成する。増税が平成27年、平成29年に2回延期されたがその時より景気が悪化した。共産党は増税反対の圧倒的世論の中で「10月からの10%増税は中止」この1点で共同して全力をつくす。財源は大企業と富裕層からの応分の負担で充分賄える。

**賛成**

平塚 與志一 議員

医師確保対策事業における修学資金の貸与には、条例を制定しなければならないので、修正案を提出したとのことだが、地方自治法第222条では、「条例があらたに予算を伴うものであるときは、必要な予算上の措置が適確に講ぜられる見込みが得られるまでは、条例を議会に提出してはならない」と規定されている。平成31年度も先行して予算提出したのだから問題はなく、修正案を提出する必要はない。よって、平成31年度二本松市一般会計予算に賛成する。

# 3月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することを行います。

**反対**

加藤 建也 議員

この予算には市の発展を支える予算が計上されており、それは評価する。しかしこの予算に含まれている公共交通運賃無料化事業は需要調査もしない、実施体験もされていない、さらに一番交通の利便性向上を訴えている安達、岩代、東和地域の市民から無料化の要請要望がない中、机上論だけで進めるこの事業予算は認められない。また二本松市の財源が一年ごとに縮小していく中で、収入0支出100のこの事業は市民の生活を真剣に考えていない予算であり反対する。

修正案に **賛成**

野地 久夫 議員

医師確保対策事業修学資金貸付金は、医学生に修学資金を貸し付けることで医師確保の担保としている。その資金の返還免除は市の権利放棄である。権利放棄には条例が必要である。条例制定まで予備費に留保する修正案である。また、岳温泉地観光施設整備事業を計画変更されたが、公共事業評価委員会の審議を経していない。決まりである評価委員会の再評価審議が必要である。後世を見据え岳温泉の地域担い手の皆さん等とも協議すべきであるため修正案に賛成する。

## 請願第1号 教職員の長時間過密労働の解消にむけ意見書提出を求める請願書

**賛成**

平 敏子 議員

「2017年度公立学校教職員人事行政調査」では、精神疾患で休職した公立学校の教員は5,077人でその約4割が1年以上休職。政府の「過労死調査」では、教職員の1日当たりの平均勤務時間は11時間17分で、働き過ぎ防止のためには「教員の増員が必要」と78.5%が回答するなど、教職員の働き方改革は喫緊の課題である。授業という教職員しかできない業務で長時間労働がつくられており、改善は、教員を増やす以外にはない。

**反対**

平栗 征雄 議員

教職員に限られた時間の中で、いじめ、不登校や問題行動への対応ができない等の課題は、教職員のみ判断行動ではなく、広く教育委員会、また行政とも連絡を密にし、解決策を検討することも大切ではないかと思う。この事案では、市行政も教育指導員等の設置や高い指導の充実に取り組んでおり、学校、家庭、地域社会が一体となって取り組む姿勢が求められている。よって、二本松市議会としての意見書提出に反対するものである。

## 請願第2号 「核兵器禁止条約」への参加（調印・批准）を求める意見書採択についての請願書

**賛成**

菅野 明 議員

2017年国連加盟国のうち、122カ国により核兵器禁止条約が採択された。今年2月末、条約を批准した国は22カ国で、批准が50カ国になると条約は発効する。日本は昨年12月、国連総会で条約の調印・批准促進の決議に反対した。アメリカの圧力に屈し、唯一の被爆国にあるまじき情けない態度である。米朝首脳会談が2回開かれ、朝鮮半島の非核化と北東アジアの平和体制確立に向け歩み出した。被爆者の願いに答えるための請願に賛成する。

**反対**

石井 馨 議員

核兵器禁止条約は、今までの核兵器廃絶に向けた様々な条約とは異なり、核兵器そのものを違法化するという極めて非現実的な条約であり、核保有国に対しその放棄を迫ることになる。我が国がこの条約に調印・批准をすることは、北朝鮮の核弾道ミサイルの脅威への抑止力として機能しているアメリカの核戦力の正当性を損なうことになり、結果として日本国民の生命や財産が危険にさらされることになることから、我が国はこの条約に調印・批准すべきではないと考える。

# 皆さまからの ご意見・ご要望を市に提出しました

議会報告会で市民の皆さまから寄せられたご意見・ご要望のうち、市長に伝える内容をまとめ、1月30日に議長・副議長が市長に直接提出し、内容を検討されるよう要望しました。  
また、議会に対してのご意見等については、その対応方針について検討を行いました。  
今回は、それらの内容をお知らせします。

## 市長に提出したもの

### 【地域振興・定住促進・再生可能エネルギー】

1. 各地域のまちづくり委員会の市全体での連絡協議会などがあれば、お互いに情報交換などをすることにより、まちづくりに関する取り組みがもっと活性化すると思う。
2. 集落支援員について、もっと活用の仕方を検討すべき。
3. 二本松で生まれ育った若者が高校・大学を卒業後に地元に残れるよう、地元へ誘導するような支援策や未来を先取りした人口流入策を検討すべき。(例：商業地の魅力向上のための大型ショッピングセンター誘致、二世帯居住が可能となるような1区画の規模が大きい宅地の分譲、渋川地区や杉田駅近郊での新たな住宅団地の造成など。)
4. 今進められている市民電力について、岳温泉のお湯を利用して発電を行うことはできないか。
5. 太陽光発電・パネル設置によるトラブルが起らないよう、条例等を整備するなどして先に手を打って欲しい。

### 【防災対策・震災復興】

6. 防災行政無線で事故・事件等を放送する際に、旧3町の地域であっても、全て「二本松市……(何々)」と放送されるため、旧二本松市の市民は現場が何処なのか分からない。二本松市の後に地域名(安達地域・岩代地域・東和地域)を入れて放送して欲しい。
7. 放射能モニタリングポストの廃止、撤去はしないで欲しい。

### 【子育て支援】

8. 油井地区の学童保育所は学年ごとに場所が分かれており、仕事を終えてからそれぞれ違う場所にお迎えの時間までに迎えに行くのがとても大変である。何とか1か所に集約して欲しい。

### 【農業振興・観光振興】

9. 原七地区の基盤整備でできた水路の底のブロック・コンクリが剥がれ、ごみなどが集まって詰まっている箇所が多くみられるので対応して欲しい。
10. 農業振興地域といっても死んでいる土地が多い。有効活用をして欲しい。
11. 有機肥料の材料として竹木等を粉碎し、再利用するシステムを検討して欲しい。(山梨県南アルプス市で既に取り組んでいる。)
12. 二本松駅と市で使用している「二本松市」のローマ字表記が異なっている。インバウンドで来る外国人にも分かりやすいように、ローマ字表記を統一した方がいいのでは。
13. 「菊人形」でお金を落としてもらうために売店を増加してはどうか。また、例えば入場券に「道の駅割引券」を付けるとか、無料入場券を市外へ配布するなど入場者を増やすためのプラスアルファのアイデアを考えるべき。

### 【道路整備・除雪対策・河川整備】

14. 安達駅北側踏切箇所について、安全対策と混雑解消のため中学校側とコンビニエンスストア側の両方に右折レーンを設置して欲しい。
15. 市道若宮・伏返線の道路整備を延伸して欲しい。
16. カントリーパークとうわの周辺では小中学生の送迎により交通量が多いが、道路の幅員が狭いため今までに何度か事故も起きている。道路の拡幅が難しいのであれば、側溝にグレーチングをかけたり、蓋をする等の工夫をして対応して欲しい。
17. 県道二本松三春線の南町地区の歩道未設置区間へ早期に歩道設置して欲しい。通学路であり非常に危険である。
18. 県道原町二本松線の一部区間で雑草が伸び放題のため、県に依頼して除草して欲しい。
19. 除雪の区間について、予算の関係もあると思うが、もっと家の近くまで除雪をして欲しい。
20. 積雪時の対応として塩カルの配布を早めて欲しい。また、地域で協力している住民に何らかの恩恵があってもいいのでは。
21. 県道に塩カルを撒く機械が気温設定となっているが、雪も降っていないのに低温になると撒かれてしまうので、実情に合ったものにシステムを見直すか、地域のボランティアに任せ方がいいのではないか。
22. 鯉川の河川整備について、市民グラウンドから上流の今後の工事の見通しはどのようになっているのか。(石垣が積まれていない場所は年に3回ぐらい草刈りをしなければならないし、ゲリラ豪雨も心配である。)

## 議会で検討・対応していくもの

### 【議会報告会】

1 議会報告会は年1回ではなくて、定例会終了の都度年4回行ってはどうか。

**対応**

次回の議会報告会の開催に向け、その開催方法等について議会運営委員会等で引き続き検討してまいります。

### 【議会活動】

2 常任委員会の行政視察の報告書は、一般市民は見ることはできるのか。

**対応**

各委員会ごとの行政視察報告については、議会だよりでご覧いただけます。

また、平成30年度分から議会ウェブサイトに掲載しご覧いただけるようになりました。

### 【その他】

3 近隣市町村に移り住む方が多く、地域の人口が減ってきている。後継者不足・空き家問題、それに伴っての土地の管理も問題になっているが、中山間地域の人口減少対策として将来に対しての各議員のビジョンを検討してもらいたい。

4 人口減少について、合併後13年で約9,000人ほど人口が減少している。議員一人ひとり考えて行動して欲しい。

5 再生可能エネルギーへの対応が他市よりも遅い。議会も真剣に対応して欲しい。

**対応**

人口減少対策、再生可能エネルギーへの取組みについては、最優先で検討すべき重要課題であると認識しております。市民の皆様との意見交換などにより地域の実情や課題等を把握するとともに県内や全国の先進的な取り組みを学ぶなどしながら、これらの課題に生かすことのできる施策について、議会として十分に審議・議論してまいります。

## 議会映像ライブ中継（生放送）の配信を開始しました！

3月定例会より、二本松市議会ウェブサイトにおいて本会議の映像をライブ中継で配信しています。

また、議会ウェブサイトでは、その他次の情報をご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

- ・市議会のしくみ
- ・議員名簿
- ・議会中継
- ・会議日程・結果
- ・委員会（行政視察報告）
- ・市議会だより
- ・会議録
- ・議長交際費
- ・政務活動費



皆さまからのご意見・ご要望を市長に提出しました

### 【都市計画・公園整備・空き家対策・水道整備】

23. 今後建設・改修する公共施設等については、国土交通省が出している「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」に沿った整備をして欲しい。
24. 観音丘陵遊歩道について、伐採等整備をしているようだが、もっと日当たりが良くなるようにきちんと伐採したほうが良いと思う。また、自転車道は舗装になっているが、歩道は砂利をただ撒いただけという感じで滑って歩きにくい。歩きやすく、見通しがいいようにしてほしい。
25. お城山の頂上に「奥州霞ヶ城公園」と書かれた石碑が奥の方にあるが、あれは門柱のようなものである。今、城ブームで写真を撮りに来ている方も多いため、前の方に移設したほうが良いのではないかと。
26. 保育所、幼稚園を整備する際に、空き屋対策として保育所等に活用できる空き家が無いか探してみてもどうか。
27. 石井地区（錦町、鈴石地区等）の上水道事業は、未だ施行される状況にないが、どのようにしているのか。

### 【文化振興・体育振興】

28. 文化センターの駐車場は、まだまだ狭いと思う。
29. 岩代文化ホールの利用について、備え付けのスリッパを改善するなどして専用シートを敷かなくても利用できるようなしてほしい。
30. 杉田駅周辺整備として、駅東側に道の駅や住民センター・備蓄倉庫など市の施設を組み合わせたサッカースタジアム（1万人収容でJ2程度の試合ができる）を建設してはどうか。
31. 城山総合グラウンド、安達・岩代グラウンドを人工芝に整備してはどうか。

### 【行財政運営・その他】

32. 施設の維持管理にお金を回すことができるよう、城山信金プール以外にもネーミングライツ対象施設の拡大を検討してはどうか。（コンサートホール、カントリーパークとうわなどの施設）
33. 昔からずっと二本松市に住んでいる市民と二本松にやってきた外国人との共生を図るといった観点からも、今二本松にどのくらいの外国人が住んでいて、その方々はどんな職業・業種に就いているのか等を、まず手始めに調べるべきではないかと。
34. 二本松駅前では電波が弱くて車のカーナビではテレビを見ることができない。駅は二本松の「顔」なので、駅前で停車している際にはテレビが見れるようにお願いしたい。

# 政務活動費

平成30年度は7月に改選がありましたので、平成30年7月から平成31年3月までの収支状況をお知らせします

各会派が提出した収支報告書等の関係書類は市議会ウェブサイトでもご覧いただけます。

- 政務活動費とは、地方自治法・条例等の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として交付するものです。
- 二本松市議会では、会派に対して1人当たり月額1万円を交付しています。
- 支出残額がある場合には、市に返還しています。

(単位：円)

会派名	市政刷新会議	真誠会	市政会	日本共産党 二本松市議団	石井 馨	加藤 建也	本多 俊昭	公明党	本多 勝実	計
結成年月日	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	H30.7.1	
会派構成	野地久夫 佐藤運喜 鈴木一弘 斎藤 徹 平栗征雄 佐藤源市 (6名)	平塚與志一 佐久間好夫 佐藤 有 坂本和広 堀籠新一 (5名)	安齋政保 小野利美 熊田義春 (3名)	斎藤広二 菅野 明 平 敏子 (3名)	石井 馨 (1名)	加藤建也 (1名)	本多俊昭 (1名)	小林 均 (1名)	本多勝実 (1名)	
会派への交付額(A)	540,000	450,000	270,000	270,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	1,980,000
会派の支出合計(B)	550,560	494,018	148,393	341,064	103,410	25,520	46,360	90,000	0	1,799,325
内 訳	調査研究費 (調査先等)	383,700 ・熊本県八代市 ・熊本県熊本市 ・鹿児島県いち き串木野市								383,700
	研修費		139,130			95,310	25,520	46,360	90,000	396,320
	広報費	166,860	354,888	146,178	341,064					1,008,990
	資料作成費			2,215						2,215
	資料購入費					8,100				8,100
収支差引(A-B)	-10,560	-44,018	121,607	-71,064	-13,410	64,480	43,640	0	90,000	180,675
会派の自己負担額	10,560	44,018	0	71,064	13,410	0	0	0	0	139,052
市への返還額	0	0	121,607	0	0	64,480	43,640	0	90,000	319,727

平成31年第1回(1月)臨時会	平成31年第2回(2月)臨時会
<p>1月臨時会は、1月21日に開催されました。</p> <p>提出議案は、平成30年度二本松市一般会計補正予算1件で、審議の結果、全会一致で原案可決しました。</p> <p>◎平成30年度二本松市一般会計補正予算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興整備基金積立金の増 5,000千円</li> <li>・観光振興事業補助金の増 938千円</li> <li>・学校施設整備事業の増 257,952千円</li> </ul>	<p>2月臨時会は、2月18日に開催されました。</p> <p>提出議案は、工事請負契約の変更についてと平成30年度二本松市一般会計補正予算の2件で、審議の結果、全会一致で原案可決しました。</p> <p>◎工事請負契約の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・280MHz防災行政無線屋外拡声子局設置工事において、市役所本庁舎等の屋外スピーカーの機能向上や岩代地域の旧システム中継局の撤去等に要する工事の増に伴う変更</li> </ul> <p>◎平成30年度二本松市一般会計補正予算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・280MHz防災行政無線屋外拡声子局設置工事に係る支出見込額確定による減 58,200千円</li> </ul>

## 未来につながるものとして何をすべきか 1月30日 平成30年度市議会議員研修会

講師に本市の地方創生アドバイザーでもあり株式会社セブン銀行特別顧問、学校法人東洋大学理事長の安齋隆様をお迎えし、「二本松市におけるこれからの地方創生」と題して講演をいただきました。

講演では、未来につながるものとして、子どもたちの教育に目を向けるべきであること。文化や伝統は価値のあるものであり、それらを継承し活用していくことが重要であることなど、本市上川崎(安達地域)出身の安齋様ご自身のご経験などを交えながら、これからの地方創生に必要な考え方や重要な視点などお話いただきました。



講師の安齋 隆 さん

# 傍聴者の声

新殿地区老人クラブ 武藤 助三 さん

新殿地区老人クラブでは、3月定例会を傍聴しました。私など考えたこともなかったことなど、多くの問題が議論されていることに驚きました。私としては、これなら今の議員のみなさんに任せても大丈夫だと思いました。

今、私達が切実に感じていることは、地元の商店が減少していることです。地元の商店が無くなり、食料品などの買い物ができなくなると、遠くのスーパーに車を運転して行かなければなくなり、生活の不安を感じています。高齢者運転が問題となっている老人にとっては死活問題となります。

これらの問題も市議会で取り上げていただき、高齢者の住みやすい地域にしていきたいと思えます。



3月5日 新殿地区老人クラブのみなさん

二本松商工会議所女性会 菊地 久子 さん

私は今回が2回目の議会傍聴でした。今回は大変活発な一般質問を傍聴することができました。

ハラスメントの質問では、市職員の健康管理を委託している事業所、相談窓口があることを知りました。

また高齢者の公共交通運賃無料化事業について、私は、仙台市にもよく足を運びますが、仙台市では敬老乗車証というカードを交付しており、バス・地下鉄で使えるようです。

二本松市では、財政や地域性の問題もありますが、利用者の要望に応えられるよう取り組んでいって欲しいと思いました。



3月5日 二本松商工会議所女性会のみなさん

## 議場を見学しました

これが  
マイクだよ…



1月28日 石井小学校6年生のみなさん(見学当時)

緊張するね



1月22日 二本松北小学校4年生のみなさん(見学当時)



本会議は、当日住所と名前を記入するだけで傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。皆さまお気軽に傍聴においでください。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1  
TEL 55-5143 (議会事務局) FAX 22-6047  
E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



# 第3回議会報告会を開催します

市民の皆さまに議会の活動状況などをお知らせするとともに、幅広く皆さまからご意見やご提言をいただくため、「議会報告会」を開催します。  
多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております！

みんなで行ってみっぺ！



## 内容

### ■議会活動報告

3月定例会における議案等の審議内容や議会の活動状況など

### ■意見交換

市政全般や議会についての意見交換

日程	対象地域	会場	出席議員(担当班)
5月21日(火) 午後7時から	二本松地域 (二本松・塩沢)	二本松住民センター 3階 第3会議室	◎小野 利美 ○加藤 建也 堀籠 新一 坂本 和広 斎藤 広二 佐藤 源市 野地 久夫
5月21日(火) 午後7時から	東和地域	東和文化センター 2階 研修室	◎本多 俊昭 ○石井 馨 斎藤 徹明 熊田 義春 菅野 明 平塚 與志一 佐藤 有 平栗 征雄
5月22日(水) 午後7時から	二本松地域 (岳下・杉田)	杉田住民センター 2階 大研修室	◎本多 俊昭 ○石井 馨 斎藤 徹明 熊田 義春 菅野 明 平塚 與志一 佐藤 有 平栗 征雄
5月22日(水) 午後7時から	岩代地域	新殿住民センター 2階 大会議室	◎安齋 政保 ○佐藤 運喜 佐久間好夫 鈴木 一弘 平 敏子 本多 勝実 小林 均
5月23日(木) 午後7時から	二本松地域 (石井・大平)	大平住民センター 2階 大研修室	◎小野 利美 ○加藤 建也 堀籠 新一 坂本 和広 斎藤 広二 佐藤 源市 野地 久夫
5月23日(木) 午後7時から	安達地域	渋川住民センター 1階 多目的ホール	◎安齋 政保 ○佐藤 運喜 佐久間好夫 鈴木 一弘 平 敏子 本多 勝実 小林 均

※ 議会報告会の時間は、概ね1時間30分を予定しております。

(◎：班長 ○：副班長)

※ お住まいの地域以外の会場でも参加できます。

【お問い合わせ先】 二本松市議会事務局 電話55-5144 (直通)

## 編集後記

桜の季節も過ぎ新緑の季節となりました。今年は全国さくらシンポジウムが二本松市で開催され、全国から多くの方が二本松市の桜を見にいっていらっしゃいました。

3月定例会は、各会派の代表質問と一般質問が行われ20人の議員が登壇、また、市民の負託に応える議会として、議案に「賛成」「反対」を活発に議論した議会でした。

3月定例会からは議会ライブ中継が始まりましたが、議場にも生涯学習の一環としてなど、多くの市民の方が傍聴にいらっしやいました。議会がより身近になるよう引き続き取り組んでまいります。



編集委員会  
委員長  
副委員長  
委員  
員

佐藤 運喜  
石井 馨  
平井 敏子  
佐久間 好夫  
斎藤 徹  
坂本 和広